

『大会発表論文集』(Proceedings) 執筆規定

第 25 回『大会発表論文集』(Proceedings) (第 18 号)

日本語用論学会では、2005 年度より、毎年の大会で発表された論文をとりまとめ、大会後に、『大会発表論文集』を発行しています。つきましては、大会の「研究発表」「シンポジウム」にて発表されました皆様は、以下の要領で原稿をご提出くださいますようお願いいたします(投稿を希望されない方は提出不要です)。

※投稿に際しては、以下の執筆規定を厳守するようお願いいたします。

※不備がある場合は掲載されないことがあります。

1. 執筆規定

1. 用紙・ページ数：

A4 用紙、横書き(段組みは 1 段)。「研究発表」は 8 ページ以内、「シンポジウム」は当該シンポジウム内の発表 1 件につき 6 ページ以内(注：要旨、参照文献を含む)。
上記ページ数の範囲内であれば字数は自由。

2. 書式：

a. 余白は上下 30mm、左右 25mm とする。すべて横書きとし、日本語の場合は 10.5

ポイントで 1 行 38 文字、1 ページ 32 行、英語の場合は 12 ポイントで 1 ページ 32 行とする。日本語のフォントは MS 明朝ないしは游明朝、英語のフォントは century ないしは Times New Roman を推奨する。

b. 原稿の1ページ目には、タイトル（中央揃え）、氏名（右揃え）、所属（E-mailアドレスは任意）（右揃え）を記し、そのあと**2行空けて要旨**、1行空けてキーワード、2行空けて本文を続ける。（次頁の「原稿のイメージ」を参照）

* 共著論文の場合は、**著者ごとに**「氏名（所属）」の様式にて右揃えで記す。

c. 「はじめに」または「序論」の節は「0.」からではなく、「1.」から始めること。

d. 例文の前後は1行、各節の前は1行空ける。

e. 原稿のヘッダーやフッターには、何も記載しないこと。

f. 注を付ける場合は巻末とし、本文と参考文献の間にまとめて入れる。

g. 参考文献のフォーマットは『語用論研究』の投稿規定・スタイルシートに従うこと。

（本学会のホームページ https://pragmatics.gr.jp/journal/contribution_rule.html 参照）。

<特にご留意いただきたいこと>

(1) 英語の文献と日本語の文献を**混在させて**、**アルファベット順**に並べる。

(2) 英語の文献名は、**内容語の語頭は大文字**、**機能語の語頭は小文字**とする。

3. 要旨：

a. 要旨は（日本語での論文も含め）全て**英語**によるものとし、約100語で書く。

b. 要旨の前には<Abstract>と記し、行頭をインデントしないこと。

（次頁の「原稿のイメージ」を参照）

4. キーワード：

a. 要旨の下に **1行空けて** 以下のように記す（5個以内）。

【キーワード】：○○・△△・□□・◇◇・▽▽

b. キーワードと本文との間は **2行空ける**。

原稿のイメージ（1ページ目）

タイトル

氏名
所属

<Abstract>
.

【キーワード】：○○・△△・□□・◇◇・▽▽

本文

<共著の場合>
氏名1（所属）
氏名2（所属）

2. その他の注意事項

a. 内容は、大会発表に沿ったものとする（タイトルの変更は不可だが、内容について、

発表時のコメントをふまえて修正を加えることは妨げない。）

b. 使用言語は、発表言語に合わせること。

c. 本『大会発表論文集』に掲載した内容は、さらに発展させて、『語用論研究』に投稿することができる。その場合は、必ず十分な加筆・修正を施すこと。

3. 原稿の提出方法

- a. 「原稿ファイル」を、本学会のホームページにある「会員専用ページ（マイページ）」の発表論文投稿画面（2023年2月にオープン予定）にて **PDF** ファイルで投稿する。但し、シンポジウムの場合は、代表者が全員分を取りまとめて投稿のこと。
- b. 投稿者の連絡先などの個人情報については、投稿ページの画面に記載された指示に従い、入力すること。

4. 原稿の提出期限

2023年3月31日（金）23:59（日本時間）（この時刻までに投稿を完了すること）

*上記の締切日時を過ぎると投稿ページが閉鎖され、投稿できなくなります。その時点で未提出のものは投稿を希望されないと判断しますので、ご了承ください。

【問い合わせ先】

日本語用論学会 大会総務委員会 発表論文集（プロシーディングズ）担当 村田 和代

proceedings@pragmatics.gr.jp

* 投稿に関するお問い合わせは、2023年3月24日（金）までお願いいたします。